

5年	課題分析	授業改善策	新学習指導要領に向けて	評価(◎○△)
国語	<p>○書くことに苦手意識をもつ児童が多く、読むことや書くことの指導に時間がかかる。</p> <p>○漢字の定着に個人差が見られる。</p> <p>○自分の考えの理由をに時間がかかることがある。</p>	<p>○読解のスキルを分かりやすく身に付けられるように、スモールステップの学習を取り入れる。また、単元ごとに身に付けた力を絞って単元計画を考え、年間を見通して積み上げる。</p> <p>○言語活動「それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動」を多く取り入れ、意欲につなげ、思考力、判断力、表現力を育てていく。</p> <p>○様々な形式の書く活動を意図的に取り入れ、基礎的なスキルの向上とともに、伝える楽しさを実感させていく。書き慣れることと、語彙を増やすことを目的として、日常的に日記や短作文に取り組むようにする。</p> <p>○授業の中では、新出漢字の習得時に言葉広げなどをして、語彙力とともにスキルを高めていく。また、個人の能力に合った漢字練習法を提案し、自分に合った方法を身に付けさせる。</p>	<p>【言葉による見方・考え方】言葉の意味・関係、使い方などに着目しながら、スモールステップで文章を書いたり、メモしたりするなど自分の思いや考えを言葉で表現する活動を多く取り入れる。</p> <p>【対話的な学びの視点からの言語活動の充実のための工夫】ペアやグループ学習を取り入れ、相手に伝わるよう話したり最後まで聞いたりする経験を積みませ、言語活動の充実を図る。</p>	
算数	<p>○問題文から演算決定をするための情報を読み取る力が弱い。</p> <p>○様々な大きさに対する量感が不足しており、単位の換算(m→cm、kg→gなど)が未定着な児童がいる。</p> <p>○身の回りの事象を簡潔に表現するために、グラフを活用できる児童が少ない。</p> <p>○ベーシックドリル診断シートの結果、「式の表し方」「箱の形」の定着に課題があることが分かった。</p>	<p>○他教科での学習に概数の考えを用いたり、生活の中で概数を用いる場面を想起させたりして活用する力を養えるようにする。</p> <p>○問題文をよく読んで、図に整理する学習を繰り返す。元にする量を捉えることができるようにする。</p> <p>○小数の四則計算の反復練習を学習の初めに行い、基礎的なスキルの向上を目指す。</p> <p>○ベーシックドリルを活用し、課題のある領域の定着を図る。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付く学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うようにする。</p>	
理科	<p>○学習に対する興味関心はあるものの、予想したり、結果から考察したりすることが難しく感じる児童がいる。また、発言できる児童が限られている。</p>	<p>○単元の内容によっては、班の中で話し合いをもたせ、発言内容に自信をもって発言できるように指導する。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性等】自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察や実験を行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動を充実させる。</p>	
社会	<p>○学習問題を児童が自主的に設定し、課題を追究する学習方法の定着ができなかった。</p> <p>○課題に合った資料を選んだり、複数の資料を関連付けて読み取ったりすることが難しくかった。</p>	<p>○学習の導入場面を工夫し、学習問題を追究する意欲を喚起する。</p> <p>○意図的に用意した資料を読み取る時間を設定し、多様な考えを引き出す楽しさを実感させる。</p> <p>○学習のまとめに、学んだことを総合的に表現する活動を行い、達成感をみえる形で残していく。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】「考えたこと」に加え、「選択・判断したこと」を文章で記述したり資料などを用いて説明したり、話し合ったりする力を養う。</p>	
外国語	<p>○英語で表現すること自体に、抵抗感を持っている児童が多かった。</p> <p>○コミュニケーション力を高めるための活動を、楽しいだけで終わらせてことがあった。</p> <p>○書く活動を必然性を感じるように位置付けるのが難しかった。</p>	<p>○英語への抵抗感をなくすように、ALTと協力して分からないことがないように丁寧に指導する。</p> <p>○コミュニケーションにつながる活動の取り入れ方やねらいの提示を工夫し、一人一人が楽しく自信をもてるように良い声掛けをたくさん行う。</p> <p>○毎時間、簡単な書く活動を取り入れることで、スペルの定着を図る。フォニックス的な活動を取り入れ、単語を読んで書く力を付けていく。</p>	<p>【主体的・対話的で深い学び】知識・技能をコミュニケーションにおいて活用し、外国語で情報や自分の考えなどを表現し、伝え合うことを重視している。</p>	
音楽	<p>○表現の工夫については、楽曲の良さを感じれるが、楽曲から表現の工夫する根拠を曲の特徴に求めて表現づくりは、難しい。</p> <p>○技能に関しては、定着に個人差がある。身に付けた技能を応用する力が乏しい。</p> <p>○協働して音楽活動を楽しみ、自分達の音楽をよりよくしていく意識が低い。</p>	<p>○意欲を高め、技能のポイントを学びやすくするため、学習の場を工夫する。一人一人の目標や課題意識をもって、練習に取り組めるように様々な活動ができるようにする。</p> <p>○授業の前半に、不足する力を補い、基本の動きを高める運動を取り入れる。</p> <p>○良い動きのチームや児童の様子を観察させる。互いに教え合ったり、工夫したりする場を設ける。</p> <p>○スモールステップで取り組ませることを心掛け、運動遊びの楽しさに触れる機会を作る。</p>	<p>児童が音楽に出会う場面を大切に、「音楽的な見方・考え方」を働かせて、一人ひとりが音楽に立体的に関わる。聴き取ったことを言葉や体で表現・比較し、関連付けにより、音楽との一体感や要素の働きなどを共有・共感すること。【深い学び】</p>	
図画工作	<p>○「感性や想像力を働かせ」て、「表現したり鑑賞したりする」資質・能力を、スパイラルに育成する必要がある。</p> <p>○思考力・判断力・表現力等を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学習の場面で言語活動か、非言語活動かを意識して取り組む必要がある。</p> <p>○生活を豊かに美しくする造形や美術の働き、美術文化についての理解を進める学習を充実させる必要がある。</p>	<p>【内容】○「表現・鑑賞」全ての造形活動に「造形遊び」の要素を取り入れ、児童が楽しく主体的に活動できる中で、感性や想像力を育てていけるようにする。</p> <p>○鑑賞の対象の幅を広げて「生活の中の造形」等、作品以外にも「鑑賞」の目を向けられるように育てる。</p> <p>○[共通事項]アの、形や色などを造形的な視点でとらえられるように、一部に“知識”も用いる。</p> <p>【指導】○「A表現」の指導にあたり、児童が自分の良さや可能性を見出せるようにする。</p> <p>○楽しい内容で、主体的な活動ができるようにする。</p>	<p>○図画工作科においては心と体を使って(触れたり、)感じたりする体験や、人との関わりを通して良さや価値を実感する活動を重視している。「主体的、対話的で深い学び」の視点に立ち、活動と学びの関係性や、活動を通して何が身についたのかという視点から、学習・指導の改善・充実を進める。</p>	
家庭	<p>○初めての教科に興味をもっている児童が多いが、裁縫の経験が少ないため、思い通りにいかず、習得が難しいと感じる児童がいる。</p> <p>○家庭の状況が様々なため、家族の一員としての意識に違いが大きい。</p>	<p>○視覚的に印象付けられるよう、ビデオ教材やデジタル教材等を活用する。</p> <p>○一つ一つ手順を踏んで習得できるようにスモールステップで指導するとともに、繰り返し練習できる時間を確保する。</p> <p>○友達の作品を見たり考えを聞いたりする場を設定して意欲を高められるようにする。</p> <p>○学習感想を書くことにより、学習の成果や課題を自ら考えられるようにする。</p>	<p>【課題を設定し解決する力・生活を工夫し想像しようとする態度】社会の変化や持続可能な社会の構築等に対応し、家族・家庭生活、幼児、高齢者、食育、日本の生活文化、金銭管理、消費生活や環境に配慮した生活などに関する内容の充実を重視している。</p>	
体育	<p>○ネット型ボール運動やリレーなどでは、グループリーダーに頼ってしまうことがある。</p> <p>○ゲーム性のある活動では、勝敗に意識がいき練習過程を重要に思えないことも多くある。</p>	<p>○自分の今の力、変化した力を自覚し意欲につなげられるように、映像などを使って認識させる。</p> <p>○児童相互に高め合いや支え合いが起きるような、場の工夫(カード・グループ)や目的意識をもたせる。</p>	<p>「心と体の一体化・豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成」自己の適性等に応じた「する・みる・支える」に「知る」を加え、3つの資質・能力をバランスよく育む。更に仲間とともに課題を解決し、次の学びにつなげる主体的・共同的な学習の充実を図ることを重視している。</p>	